

## VI. 追手門学院幼稚園

### 1. 当年度の重点方針

＜教育力の向上、喫緊に差し迫った「こども園」への対応そして財政力の向上＞

長期化する経済不況、さらに深刻化する少子化、仕事を持つ母親等の激増に伴い私立幼稚園の置かれている状況は困難を極める。しかも「保育所」、「認定こども園」との生存競争のみならず、公的補助である経常費補助金の削減が重くのし掛かる現実が存在する。

一方で2013年度へ向けて「こども園」化への速やかな、盤石な移行そして補助金獲得が要求される。本園は、「こども園」化を0歳から満3歳までの園児獲得への「新規分野への進出」、いわば「福音」として捉えている。世代交代を果たした後の中堅教員による“新しい発想での幼児教育”を生み出し、今後、「幼稚園型こども園」として更に教育・教員の質のみならず進学幼稚園として、そして地域に根ざした幼稚園として保育内容の体系化、シラバスの再構築を力強く実践する。その上で中期計画書における教育、募集、進路、人事・組織、施設・設備を具現化し募集力、財政力の向上に努めることを重点方針とする。

### 2. 主な事業計画

#### (1) こども園への対応

- ・「こども園」対応カリキュラムの研究・スケジュール作成

- ・他園訪問視察、監督官庁の訪問

本園の改善点探求、進むべき方向性を確立する。

#### (2) 教育面

- ・教育理念に基づく保育教育の充実

学院の教育理念に基づいた園の教育理念である「ひろびろ のびのび いきいき」の保育教育を、より充実させていく。そして他園との区別化における、特に英語そして音楽・体操・補習拡充、コミュニケーション・プレゼン能力推進については更に、研究、実践する。

- ・生きる力の育成

教育における五領域（健康、人間関係、環境、言葉、表現）の内容を指導して、生きる力の基礎となる心情、意欲、態度を育てる。

### (3) 評価

進学幼稚園のブランド確立のため、幼稚園評価・学校関係者評価・教員評価を更に進め、PDCA サイクルに基づく継続的改善を実施する。

### (4) 子育て支援

#### ・預かり保育の拡充

仕事を持つ母親等のサポートとして預かり保育の長期間、長時間化を更に拡大する。

#### ・子育て相談の充実

子育てに不安を持つ保護者に対応できる追手門学院大学心理学部支援の相談システムを活用していく。

### (5) 進路

・追手門学院小学校、他私立小学校、国立大付属小学校への進学実績を維持、向上させる。

### (6) 広報

#### ・広報誌の充実

「追幼だより」「学年だより」「クラスだより」「フォーだより」の発行をより充実させ、内外に公表し、親しみを持ってもらい、より多くの人に関心を持ってもらう。

### (7) 財政面

#### ・補助金の獲得

預かり保育の拡大により「預かり保育収入」のみならず公的補助金を確実に獲得する。

・「年中」の授業料を値上げし（「年少」と同額となる）財政の安定化を図る。